



末吉小だより

横浜市立末吉小学校
学校だより

令和4年 6月号

立場が人を育てる

副校長 菅野 範子

4月5月と新しい学年・クラスで過ごす中で、子どもたちは1つ上の学年になった喜びと責任を感じる経験を積み重ねています。1年生の手をしっかりとつなぎ、学校たんけんて校内を案内する2年生の姿に、入学して1年間の成長を強く感じましたし、最高学年としてたてわり班や集団登校班のリーダーとして、先頭に立って下級生をまとめる6年生は、一段と大きくなったのもしく見えます。6年生はかつて自分たちもそうしてもらったように、1年生の教室に交代で出向き朝のしたくやそうじなどをサポートしました。自分のお手伝いの日が来るのを心待ちにしている様子も耳に入ってきました。

また、クラスで係や当番を決め、新しい自分の仕事にはりきって取り組む子どもたちの様子もあります。学年で決めた目標に向かって学年みんなで意識できるようにと、実行委員を中心に発表の準備を進めている学年もあります。

このようなたてわりや係活動の他、クラブ活動、委員会活動、学校行事等は学校の教育活動では「特別活動」に位置付けられます。学習指導要領の「特別活動」の目標には、育てたい資質・能力の中の一部として、

- 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

と明記されています。年上年下を含めた「多様な他者」である友だちとの活動を通し、誰もが楽しく過ごせるために必要な集団の中でのスキルを身に付け、よりよい人間関係を築くとともに自分の良さを発揮できる力を育てることをねらい、様々な活動に工夫して取り組んでいます。

たてわり全校遠足では、1～6年生がそろったそれぞれのたてわりグループで、半日を三ツ池公園で過ごします。高学年は下級生を思いやり、グループのために率先して動く頼りになる姿が、低学年は支えてもらいながら上級生に協力する姿が、公園のあちらこちらで見られることでしょう。そして、学校は集団で学ぶ場、これから子どもたちが生きていく社会の縮図です。一人ひとりが集団の中で、自分のいる「立場」にふさわしい自分に育ち、さらに地域や社会にその力を大いに発揮できるよう、これからも支援を続けます！



校庭側道路の花壇に咲いた
ヒラドツツジの花